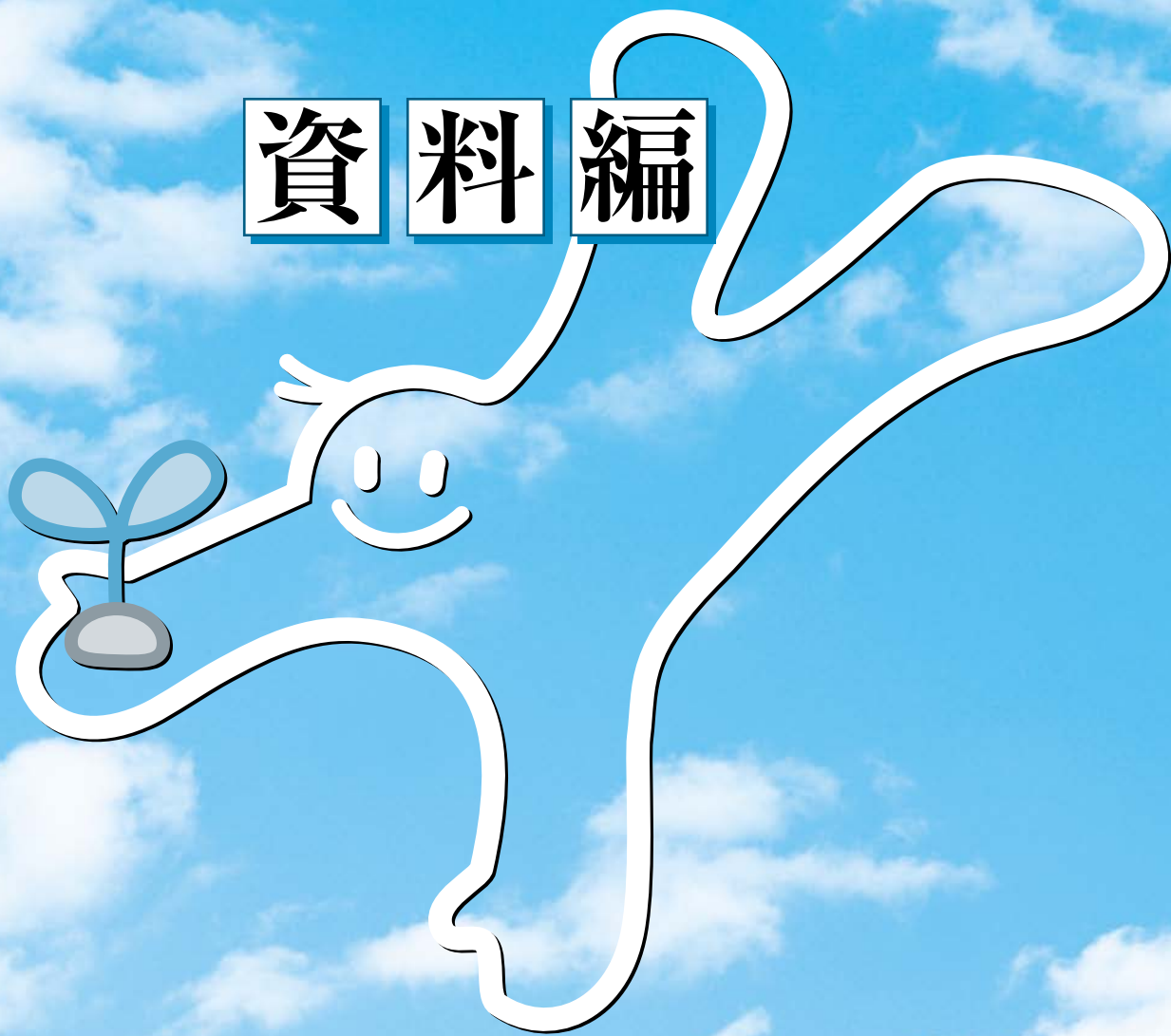


資料編



中野市総合計画審議会委員名簿

順不同

任期：平成17年8月10日から2年間

	氏名	団体等	所属部会	備考
会長	滝 沢 忠	中野市ボランティア連絡協議会会長	民生環境	
副会長	田 尻 隆 子	中野市保健補導員会会長		平成18年3月29日退任
副会長	水 野 千 弘	中野市豊田地域審議会会長	総務文教	
副会長	小 林 貴三子	中野市保健補導員会会長	民生環境	
委員	阿 部 敏 明	中野市教育委員会教育委員長		平成18年8月4日退任
〃	清 水 正	中野市教育委員会教育委員長	総務文教	
〃	高 橋 光 芳	中野市農業委員会会長		平成18年8月4日退任
〃	武 田 俊 道	中野市農業委員会会長	経済建設	
〃	上 原 悦 男	中野市区長会会長		平成18年3月29日退任
〃	松 島 輝 男	中野市区長会会長	総務文教	
〃	稲 澤 松 子	男女共同参画推進懇話会委員長	民生環境	
〃	清 野 久 子	ふるさと虹の会会員	経済建設	
〃	大 内 ふじ子	中野市豊田地域審議会委員	総務文教	
〃	高 橋 幸 司	中野市PTA連合会会長		平成18年8月4日退任
〃	土 屋 金 治	中野市PTA連合会・日野小学校PTA会長	総務文教	
〃	古 田 訓 孝	中野市公民館分館協議会会長		平成18年8月4日退任
〃	須 崎 太 郎	中野市公民館分館協議会会長	総務文教	
〃	清 水 康 雄	中野市社会福祉協議会会長	民生環境	
〃	山 口 元 江	中野市老人クラブ連合会副会長（女性部長）	民生環境	
〃	宮 寄 三 雄	中野市民生児童委員協議会会長	民生環境	
〃	割 田 登志男	中野市衛生自治会会長		平成18年8月4日退任
〃	藤 沢 初治郎	中野市衛生自治会会長	民生環境	
〃	関 黎 子	中野市消費者の会会長		平成18年8月4日退任
〃	今 井 多恵子	中野市消費者の会会長	民生環境	
〃	小 林 宣 雄	中野市農業協同組合代表理事組合長	経済建設	
〃	市 川 志 津	中野市農業協同組合女性部部长		平成18年3月29日退任
〃	小 野 すみ江	中野市農業協同組合女性部部长	経済建設	
〃	荻 和 義 夫	中野商工会議所会頭		平成18年12月8日退任
〃	関 堅 治	中野商工会議所会頭	経済建設	
〃	武 田 健 児	中野青年会議所直前理事長	経済建設	
〃	中 野 行 男	信州なかの観光協会事務局長	経済建設	
〃	佐 藤 則 子	中野市農村女性活動推進委員会委員		平成18年8月4日退任
〃	町 田 美佐子	中野市農村女性活動推進委員会委員	経済建設	
〃	高 橋 剛太郎	豊田特産振興会顧問	経済建設	
〃	佐 藤 晴 夫	中野市消防団団長		平成18年8月4日退任
〃	増 田 善 行	中野市消防団団長	総務文教	
〃	古 坂 和 俊	北信地方事務所所長	総務文教	

基本構想 諮問書

18第2846号
平成18年 8 月 3 日

中野市総合計画審議会
会長 滝沢 忠 様

中野市長 青木 一

中野市総合計画基本構想(案)について

中野市総合計画基本構想を策定するにあたり、中野市総合計画審議会条例（平成17年中野市条例第21号）第1条の規定により、下記事項を諮問します。

なお、答申は、平成18年8月18日までをお願いします。

記

- 1 中野市総合計画基本構想(案)

基本構想 答申書

平成18年 8 月23日

中野市長 青木 一 様

中野市総合計画審議会
会長 滝沢 忠

中野市総合計画基本構想(案)について(答申)

平成18年8月3日に諮問された、中野市総合計画基本構想(案)について、下記のとおり答申いたします。

記

原案は適当である。

基本計画 諮問書

18第4511号
平成18年11月9日

中野市総合計画審議会
会長 滝沢 忠 様

中野市長 青木 一

中野市総合計画前期基本計画(案)について

中野市総合計画前期基本計画を策定するにあたり、中野市総合計画審議会条例(平成17年中野市条例第21号)第1条の規定により、下記事項を諮問します。

なお、答申は、平成18年12月18日までをお願いします。

記

- 1 中野市総合計画前期基本計画(案)

基本計画 答申書

平成18年12月18日

中野市長 青木 一 様

中野市総合計画審議会
会長 滝沢 忠

中野市総合計画前期基本計画(案)について(答申)

平成18年11月9日に諮問された、中野市総合計画前期基本計画(案)について、下記のとおり答申いたします。

記

原案は適当である。

総合計画策定の経過

	月 日	策定経過
平成18年	7月7日	議会全員協議会で基本方針について説明
	8月10日	総合計画審議会（策定方針の説明）
	10月13日～27日	市民意識調査実施
	11月18日	総合計画審議会（市民意識調査速報）
	1月12日～3月29日	中野市の未来を語るワークショップ（6回開催）
	3月29日	総合計画審議会（基礎調査中間報告）
平成18年	5月19日	企画担当係長等会議で総合計画策定について説明
	5月22日～7月20日	部門計画会議で素案を作成検討
	6月21日～7月31日	市民懇談会（市内11地区）
	7月24日	基本構想について市長に説明
	7月31日	庁内策定委員会（基本構想について）
	8月3日～18日	基本構想案パブリックコメント
	8月4日	総合計画審議会へ基本構想諮問
	8月18日	総合計画審議会（基本構想内容審議、採決）
	8月23日	基本構想答申
	9月4日～26日	中野市議会定例会
	9月20日	市議会基本構想審査特別委員会
	9月22日	策定担当係長等会議
	10月12日～18日	基本計画策定市長助役ヒアリング
	11月8日	庁内策定委員会
	11月9日～12月7日	基本計画案パブリックコメント
	11月20日	総合計画審議会へ基本計画諮問
12月8日	総合計画審議会 部会審議	
12月18日	総合計画審議会（内容審議、採決、答申）	

市民意識調査結果の概要

1 調査の概要

調査対象者 市内在住の16歳以上の男女5,000人（平成17年10月1日現在で住民基本台帳から無作為に抽出）

調査総数 4,944人（あて先不明者等を除く）

回答総数 2,830票

回収率 57.2%

調査期間 平成17年10月13日～27日

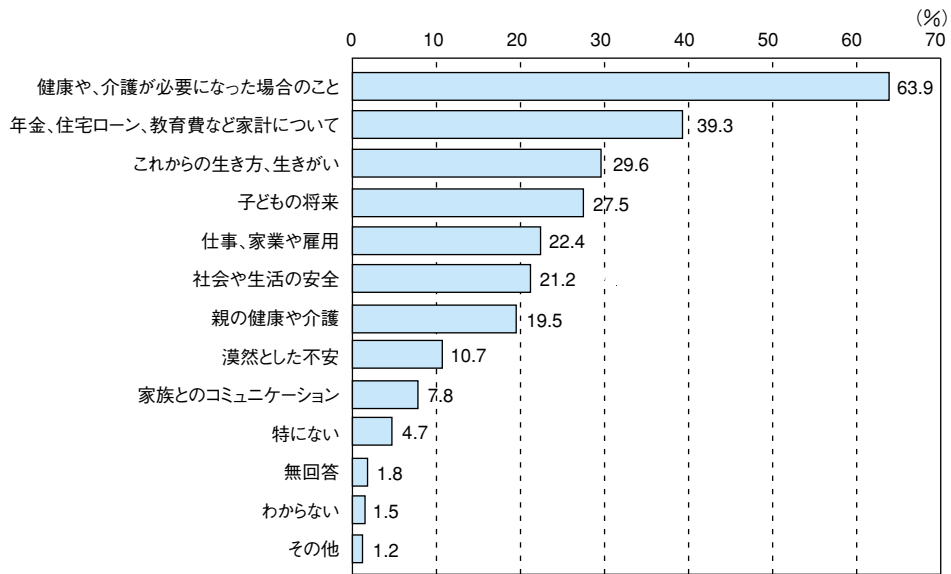
2 調査の結果

○人生における「大切なもの」

人生における「大切なもの」をたずねたところ、「家族」（83.1%）、「健康・長寿」（69.8%）、「友人・仲間」（50.7%）、「お金・財産」（50.2%）、「自分」（46.5%）の順となり、お金や財産といった経済的なものより家族や健康が大切であるとする割合が上回りました。年代別では、上位の回答項目は順位のはらつきはあるものの、ほぼ同様の傾向を示したのに対し、下位項目をみると10歳代と20歳代では「趣味・娯楽・芸術」、「時間」、30歳代から50歳代では「仕事」、60歳代以上では「生活環境」、「身体能力」と回答した割合が高くなっており、世代ごとの価値観の違いもみられました。

○今後の生活の不安

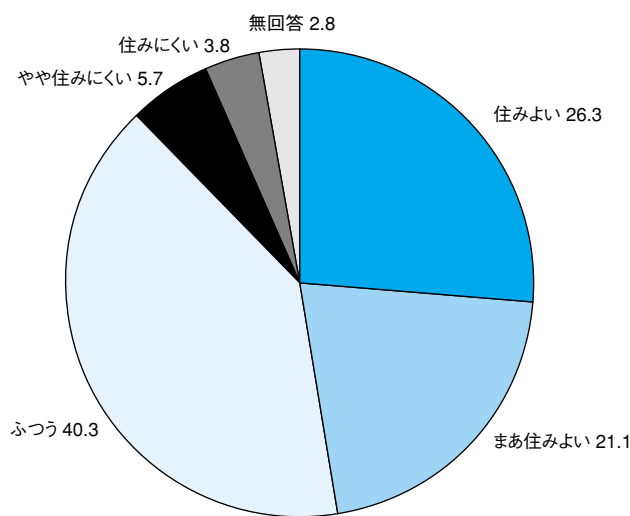
今後の生活における不安についてたずねたところ、「健康や、介護が必要になった場合のこと」（63.9%）、「年金、住宅ローン、教育費など家計について」（39.3%）、「これからの生き方、生きがい」（29.6%）の順となりました。これらの回答は、年代別に傾向が異なっており、「健康や、介護が必要になった場合のこと」は、年齢が高くなるに従って割合が高く、60歳以上では8割を超える割合となっており、「年金、住宅ローン、教育費など家計について」は、家計を支える30歳代～50歳代で割合が高く、「これからの生き方、生きがい」は、10歳代～20歳代で高い割合を示しています。また、特に40歳代では5割近くの人が「子どもの将来」に不安を感じています。



今後の生活の不安（複数回答）

○住みよさの評価

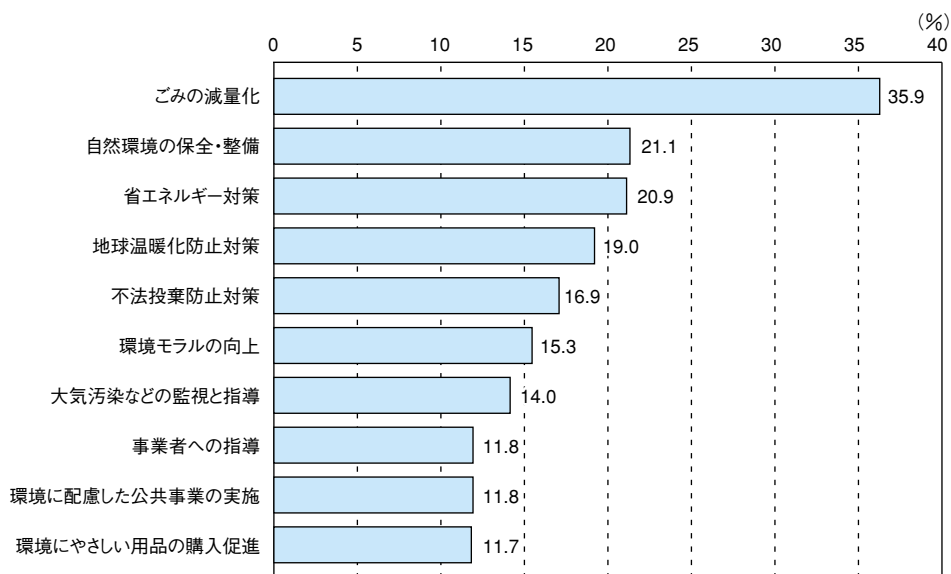
「まあ住みよい」を含めて「住みよい」と感じている人は47.4%で、「住みにくい」と「やや住みにくい」をあわせた割合9.5%を大きく上回り、総合的に住みよさを認識している結果となりました。また、女性のほうが男性より住みよさを感じている割合が高くなっています。



住みよさの評価 (%)

○環境保全について

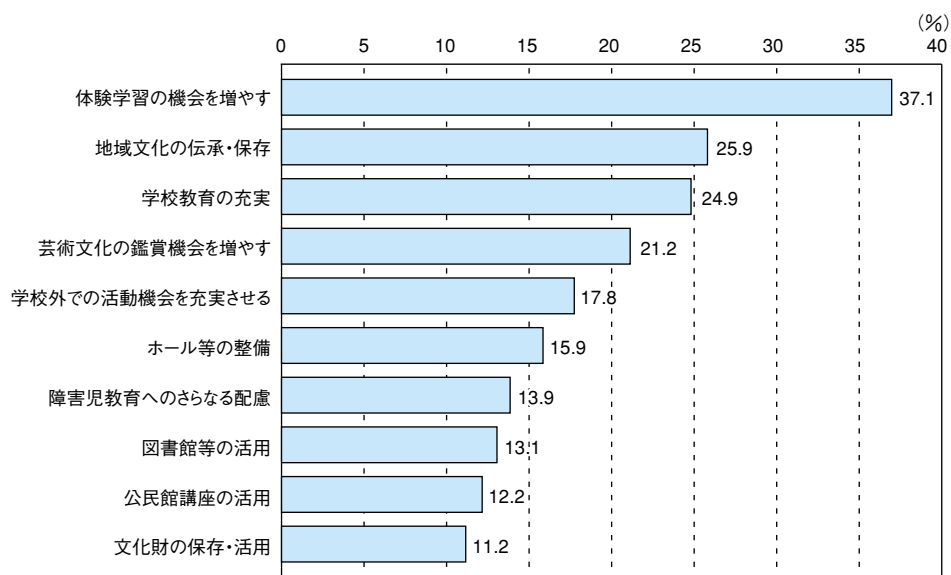
環境保全に関して力を入れるべき施策の最も多い回答は「ごみの減量化」で、次いで「自然環境の保全・整備」、「省エネルギー対策」、「地球温暖化防止対策」の順となりました。男女別では、上位の順位は変わらないものの、男性では「不法投棄防止対策」、「環境モラルの向上」、女性では「環境にやさしい用品の購入促進」の割合が比較的高くなっています。



環境保全について（複数回答）

○教育・文化について

教育・文化の充実・向上を図るために重要であると思うことは、「体験学習の機会を増やす」、「地域文化の伝承・保存」、「学校教育の充実」、「芸術文化の鑑賞機会を増やす」、「学校外での活動機会を充実させる」、「ホール等の整備」などの順となりました。



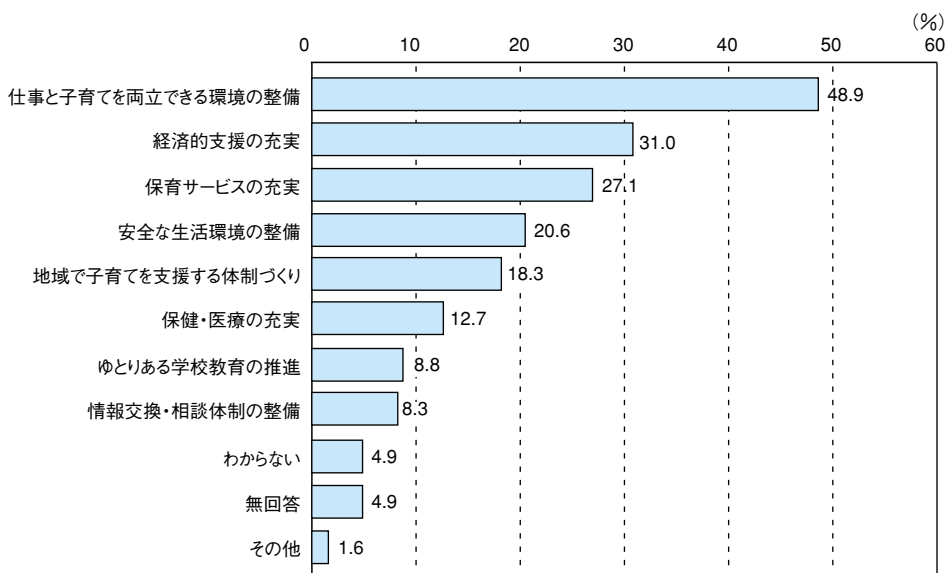
教育・文化について（複数回答）

○高齢化・健康対策について

高齢化社会が進行する中で重要だと考える高齢化・健康対策は、「高齢者が気軽に参加できる機会の創出」、「高齢者、障害者の働く場を増やす」、「予防医療に力を入れる」、「早期発見、早期治療に力を入れる」、「在宅福祉サービスの充実」などの順となり、高齢者が元気に活動できるようにするための支援策と医療・福祉体制の充実が上位となりました。

○次世代育成支援対策について

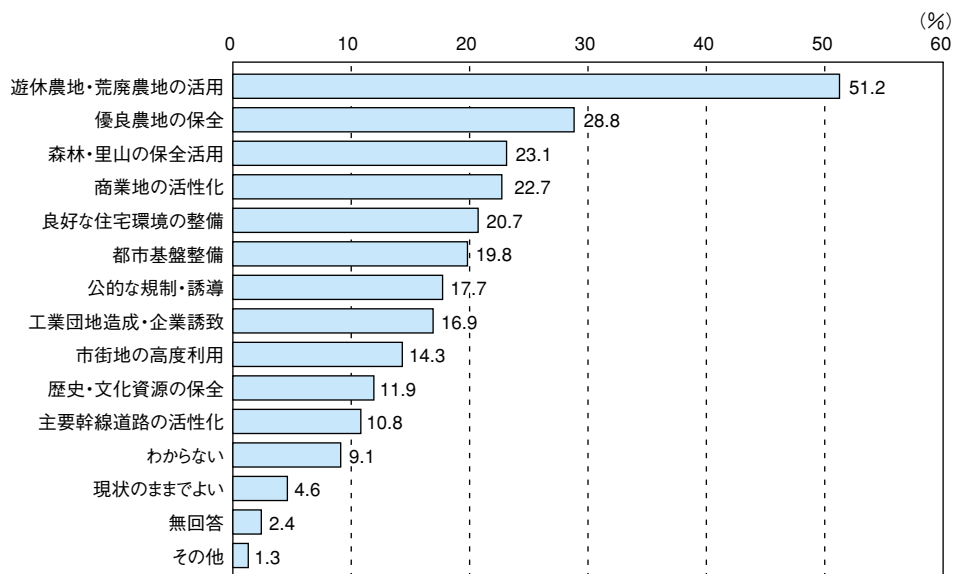
「次世代を育成する地域づくり」のために必要な支援については、「仕事と子育てを両立できる環境の整備」、「経済的支援の充実」、「保育サービスの充実」、「安全な生活環境の整備」を望む人が多く、特に「仕事と子育てを両立できる環境の整備」は、5割近くに上っています。



次世代育成支援対策について（複数回答）

○土地利用のあり方について

土地利用のあり方についてたずねたところ、「遊休農地・荒廃農地の活用」、「優良農地の保全」、「森林・里山の保全活用」、「商業地の活性化」、「良好な住宅環境の整備」などの順となり、本市の土地利用の現状と課題を反映した回答が上位を占めました。



土地利用のあり方について（複数回答）

○産業や地域経済活性化について

産業や地域の活性化のために重要だと思う点は、「人材の確保・育成」が最も多く、次いで「地域ブランドの確立」、「地物を使った加工産業の育成」、「地域資源を活用した観光の推進」、「生産者の意欲向上」などの順となりました。

○本市を代表するもの、活用すべきもの

本市を代表するものとしては、「一本木公園」、「中山晋平記念館」、「農産物」、「高野辰之記念館」、「高社山」の順となりました。

一方、活用すべきものとしては、「農産物」をあげた人が最も多く、本市の基幹産業である農業の活性化による地域振興に期待する市民が多いことがうかがわれます。次いで、一本木公園については代表するものと同様に活用すべきと回答した割合が多くなっています。また、代表するものとしては順位が低かった「ふるさとの森文化公園」、「ぼんぼこの湯」、「浜津ヶ池」、「まだらおの湯」などを活用すべきものとして挙げる人が多くなっており、既存施設の更なる活用を望む声を反映しているものと考えられます。

本市を代表するもの（上位10項目）

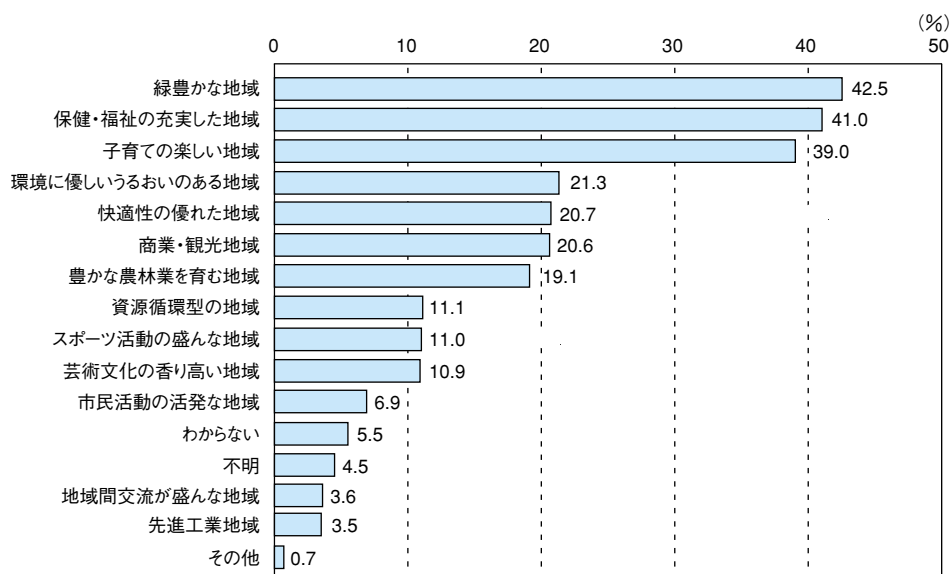
	項目	割合(%)
1	一本木公園	51.8
2	中山晋平記念館	46.8
3	農産物	34.2
4	高野辰之記念館	30.8
5	高社山	25.4
6	土人形	22.3
7	土人形資料館	16.0
8	ぼんぼこの湯	15.6
9	千曲川	13.9
10	ふるさとの森文化公園	11.3

活用すべきもの（上位10項目）

	項目	割合(%)
1	農産物	31.9
2	一本木公園	23.1
3	ふるさとの森文化公園	20.9
4	ぼんぼこの湯	16.4
5	中山晋平記念館	12.4
6	土人形	11.5
7	浜津ヶ池	11.2
8	まだらおの湯	10.1
9	高野辰之記念館	9.2
10	東山公園	9.1

○地域の将来像について

地域の将来像としてふさわしいと思うものは、「緑豊かな地域」が最も多く、次に「保健・福祉の充実した地域」、「子育ての楽しい地域」となり、これら3つの回答に集中する傾向がみられました。年代別では、20歳代～30歳代で、「みどり豊かな地域」と「子育ての楽しい地域」を挙げた人が5割以上を占め、60歳以上では「保健・福祉の充実した地域」が最も多くなっています。



地域の将来像について（複数回答）

中野市の未来を語るワークショップの経過について

平成17年11月28日の総合計画審議会において、ワークショップの設置について説明。
平成17年12月1日から20日まで委員の公募を実施（広報誌、公式ホームページほか）。
19人の市民から応募があり、市の若手職員10人とあわせて29人の委員により構成。

- 第1回 日時／平成18年1月12日（木）午後6時30分～8時30分
場所／市民会館41号会議室
作業／中野市の現状についての学習（統計データ、市民アンケート）、グループ（担当分野）分け、リーダー・書記の互選、検討テーマの設定など
- 第2回 日時／平成18年1月30日（月）午後6時30分～8時30分
場所／31・32号会議室
作業／各グループの担当分野における「中野市のいいところ、悪いところ」について、KJ法により意見集約
- 第3回 日時／平成18年2月13日（月）午後5時30分～7時30分
場所／31・32号会議室
作業／各テーマに沿った課題の抽出を実施
- 第4回 日時／平成18年2月28日（火）午後6時30分～8時30分
場所／31・32号会議室
作業／課題を整理し、解決方法の検討作業を実施
- 第5回 日時／平成18年3月13日（月）午後6時30分～8時30分
場所／31号会議室
作業／作業のまとめとプロジェクト提案検討シートの作成
- 第6回 日時／平成18年3月29日（水）午後5時40分～7時25分
場所／32号会議室
作業／市理事者、部長、総合計画審議会委員に対してプロジェクト提案を発表

NNTP神田組

ひとをつなぐまちにする!

- 企業と行政が共同して情報のメール配信を行う
- 企業によるCATVの運営
- 全戸に防火無線 or LANを整備する(補助端末も)
- NTTや中電のカーブス網を活用してCATVをデジタル化する
- シブリにCATVを運営してもらう
- 行政が防災情報をメール配信する

やさしいまちにする!

- みんなが自主的に除雪を除雪するようなまちにする
- 市街地に車が入れないように規制する
- 行政・市民・企業による費用分担を明確にする
- 公共交通手段(バス・電車)の料金を安くする。市の補助券
- だれもが安心して歩ける道を作る
- 市独自の道路整備基本構想を行政と住民で協力してつくる
- 企業が住民ニーズに合ったバス路線にする
- 老人が手を上げたなら車にのせてあげる
- IC ← 蒸気高原 (ボンプコ) の道を整備する(観光拠点の再記画)
- 通勤時間帯の有料道路を無料化し、市内の交通量を減らし、子どもやお年寄りを守る
- 行政による除雪、市民による除雪を明確にする

愛ふるる ゆめYou meつなく ひととまち

魅力あるまちにする!

- 企業が特産物の開発を行う
- 観光の柱を決める
- 行政と企業が協力して、新しい名物(産業)をつくる
- 市民・企業・行政による中野の名物づくり
- 人をよぶ名物(食べ物)をつくる
- 農産物の中野ブランドを確立する
- オリジナルブランドを開発する(果物、野菜)
- キネスブックにのる目玉をつくる

- 果物作りを宣伝+オフショ(温泉・土びな体験)
- 小布施にくる観光客を中野へよぶものを作る
- 長電観光バスポート(バス・電車+温泉+オフショ)を統一する
- 質スキー+北志賀スキー+山ノ内温泉)一須坂(蔵・みそ)
- ロマンズカーを利用して長野(善光寺)一須坂(蔵・みそ)をよぶ
- 中野(バラ・くだもの)一湯田中(温泉)一須坂(蔵・みそ)をよぶ
- 市民が魅力ある人間になる

- 市民が町づくり意識を向上させる
- 案内看板等のデザインを統一する
- 行政が中野市のTVCMを行う
- 市民と行政が一体となるイベントを行う
- IC周辺を整備する。(記念館、オフショエ拡大・飲食店)
- 市街地の道のまん中に川をつくる
- シンボルタワーを建設する
- 各種お祭りの集約化(ひな市・七夕・きびん・えびす講)

- 音楽祭を毎年開催する
- 映画祭を開く(シブリ・宮崎駿)
- 音楽祭を開く
- スクオアシブリと石久保に中野を舞台にしたアニメを作ってもらう
- 100円バスをエコバスにする

未来をがっちり チーム晋平

健康も文化もすべて子供から

環境を良くする

- 企業が環境に配慮する
- 行政が環境のハートロールを行う
- 市民全員でゴミひろいをする
- 市が環境にやさしい洗剤をプレゼントする(他の市はやっているところがある)
- 市民の意識を高める
- 一人ひとりがもっと自然に親しむ
- 地域で自然を大切に
- 市民がゴミの排出量をおさえる

地域社会に貢献する

- 行政が地域社会に貢献できる場をつくる
- 市民が積極的にボランティアに参加する
- 近所つきあいを積極的に行う
- 地域行事にみんなでも参加する
- 企業が地域の行事に参加する
- 市民一人ひとりが地域活動に参加する

産業経済を発展させる

- 中心市街地を活性化
- 空き店舗を活用する
- 企業や事業者が産業を表現する
- 学校が子どもに産業を垣間見る機会を提供する
- 市が産業をつなげる場を提供する
- 企業・事業者が産業を伝える
- 企業・事業者が産業をつなげる((例)農業と観光) など
- 市民が産業に関心をもつ
- 企業や事業者が学校に伝える材料を提供する

道徳

- あいさつ大車

行政サービスを充実する

- 中野市の行政と一人ひとりが意識改革してサービスとはなにかを考える
- サービスの研修をもっとやってほしい
- サービスの情報を発信

施設を充実する

- 公共施設を充実させる

社会福祉を充実する

子どもに伝えていくために大人が学ぶ

- 文化を継承する
- 歴史文化を学ぶ
- 大人と子どもが一緒に運動会をする
- 学校が文化を伝える場を提供する
- 市民が文化を伝える
- 市民が文化を学ぶ
- 市が文化を学ぶ場を提供する
- 市が文化を伝える材料を保存する&提供
- 子どもが行事に参加する

ワークショップグループ作業のまとめシート(当時作成したものをそのまま掲載しています。)

元気の素 まち 人が来て金が動いて元気な市

娯楽施設の充実

- 1日過ごせる施設をつくる
- 温泉の活用
- 子供が喜ぶ施設をつくる
- お年寄りが好む施設をつくる

豊かな農産物を活かす

- 地元ワインで世界一受賞
- 旬情報を発信する
- 実は仕事はある。その窓口の充実
- 観光農園を整備する
- 1年じゅう中野産ギフトセット
- 定年後の1ターン農家の受け入れ充実
- 1年間通しての観光農業リレー方式

スローand スピーディーな交通

- 車で来て、車をおりて、自転車と歩き
- 中野ICの前に新幹線の駅を作り、周りに駐車場も作る
- 公共交通機関を活かす(軽便バス・新幹線)
- バスターミナルの設置とバス路線の充実をする
- 駐車場の整備をする
- 駅周辺、インター周辺の整備をする

農・観・商のコラボレート

- バラ公園に市場の開設
- 総合観光農園(さまざまな農産物の収穫体験ができるセンター)
- 一本木公園の近くに農産物直売所、レストラン、お菓子屋などを集める

自然を創る

- 手の入っていない自然を再生する
- 里山を歩く
- 絶える風景を残す、創る
- あるがままのびるさとの再発見

食と健康

- 「健康になる」をキーワードにした農産物のPRをする
- 健康にいい農産物を食べてもらい長生きする
- 温泉と健康施設のコラボレート
- 地元の農産物を使った健康になるレシピ作り
- 北信病院の充実

観光資源をつまぐ活用

- 一本木公園、文化公園を活かす
- 古いバラを植える
- 酒造交通を止める
- うもれている観光資源を活かす
- 温泉や観光施設すべてにバラ園を作る
- 離れている観光地を結ぶorまとめ

音楽の流れる街

- 久石譲をつまぐ活用する(歌を作ってもらふ)
- 中野市の音楽をアピールする
- 子供に安全なまちづくりをする
- まちかどコンサートを開く
- 音楽祭を開催する(キハシなもの)

歩いて楽しい街づくり

- 1日過ごせるまちづくりをする
- 案内看板を充実させる(市街地の歴史を活用して)
- 町のまん中に川など…
- お年寄りが動ける足をつくる
- 駐車場を整備してそこから歩いてまわれる
- 時間の流れを感じられるまちづくりをする

ワークショップグループ作業のまとめシート(当時作成したものをそのまま掲載しています。)

市民懇談会の概要

実施期日と参加人数

地 区	開催日	会 場	出席者数
中野	6月21日(水)	中野市市民会館41号会議室	72人
日野	6月22日(木)	中野市農協日野支所会議室	50人
延徳	6月26日(月)	中野市農協延徳支所会議室	46人
平野	7月3日(月)	中野市農協平野支所大会議室	79人
高丘	6月30日(金)	中野市農協高丘支所会議室	39人
長丘	7月4日(火)	長丘南部研修センター会議室	65人
平岡	7月5日(水)	中野市農協平岡支所2階会議室	63人
科野	7月12日(水)	中野市農協科野支所大会議室	56人
倭	7月13日(木)	中野市農協倭支所会議室	46人
豊井	7月18日(火)	北信州みゆき農協豊田支所2階会議室	72人
永田	7月31日(月)	北信州みゆき農協永田支所会議室	54人
合 計			642人

中野市総合計画 基本構想・前期基本計画

平成19年3月発行

発行：中野市

編集：中野市総務部企画情報課

中野市三好町一丁目3-19

tel.0269-22-2111 fax.0269-26-0349

公式ホームページ <http://www.city.nakano.nagano.jp/>